

令和5年6月吉日

会員各位

鬼怒川カントリークラブ

理事長 山口 和夫

理事長就任のご挨拶

この度、令和5年第二回理事会において、鬼怒川カントリークラブ新理事長に選任されました山口和夫です。会員の皆様一言ご挨拶を申し上げます。

「鬼怒川カントリークラブ開場50周年記念史」に当時ハンディキャップ委員長として寄稿しました通り、鬼怒川カントリークラブは私が小学4年生の時に開場いたしました。私の生家はゴルフ場に程近い日光市大桑町であった為、中学・高校時代にはアルバイトキャディとしてお世話になり、単に報酬を得るだけでなく、勤労の大切さや自立心を養う大変貴重な経験をさせていただきました。社会人になったら、必ずクラブの会員になろうと決心し、念願かなって昭和51年にクラブに入会いたしました。

その後、平成19年からはクラブ理事に就任し、又(株)鬼怒川温泉ゴルフ倶楽部（現(株)鬼怒川カントリークラブ）の取締役（監査役）などを務めて参りました。現在は、生家の畑で野菜作りに勤しみ、3年前からは日本ミツバチの飼育を始め百花蜜の採取を行っております。又、毎月第三水曜日にはKCCサンクスという30組のゴルフコンペを主宰し、会員及び地元のゴルフ愛好家の皆様との交流の場となっております。

近年、クラブの理事と称する「一部会員」の方々が、会員の皆様から頂いた年会費を会員や会社に何の断りもなく引き出し、しかもその資金を使って会社と訴訟を起こすなど誠に憂慮される事態となっております。会社にも「一部会員」にも夫々主張は有ると思いますが、理事会でも確認した通り、年会費は会社に帰属するのが当然のこととあります。

私は、歴史と伝統のある「鬼怒川カントリークラブ」理事長として、今回理事にご就任頂いた方々を始めとするクラブを愛する会員の皆様と手を携え、又(株)鬼怒川カントリークラブ川島社長以下役職員の皆様と協力して、一日も早いクラブ運営の正常化を目指して粉骨砕身全力を尽くしてまいります。どうか皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげ、理事長就任のご挨拶とさせていただきます。